

1. 関係各課担当者と意見交換

○平成31年3月

2月の推進委員会での意見を踏まえて、社会福祉課で第4次計画の概要（案）及び基本理念・基本目標の概要（案）を修正し、関係各課担当者と現状などを含めて、意見交換を行った。

2. 関係各課担当者に素案の確認依頼

○平成31年4月

関係各課担当者との意見交換を踏まえ、第4次計画の素案を作成し、庁内検討会に先立ち、素案の確認依頼を行い、回答結果を反映。

3. 第1回庁内検討会

○令和元年5月13日

庁内検討会を開催し、素案などについて議論したところ、以下のような意見があった。今後、本日の推進委員会の意見も踏まえて、素案の修正を進めていく。

①基本目標について

- 計画記載事項は5つあるが、基本理念から見て、基本目標1～4は多いのではないかと。また、基本目標3と4は近いと思う。国の言っている、地域共生社会、包括的な支援体制の整備、地域での課題解決の仕組みが主なものだと思うので、全てを網羅するのではなく、整理したほうがいいのではないかと。思う。
- 基本目標3「社会福祉を目的とする事業の発達を推進します」の中で、「事業の発達」というのは、表現として、あまり言わないのではないかと。

②第2章 地域の現状などについて

- 「1 地域福祉の担い手」で、人口減少のあとに、「民生委員・児童委員活動」がある。基本理念「『支える側』と『支えられる側』の循環を目指して」を言うのであれば、例えば、「(4) 高齢化の捉え方」、また、担い手としては自治会やボランティアが本来で、記載の優先順位を検討したほうがいいのではないかと。
- 生活困窮者自立支援事業の中の学習支援は、塾形式ではなく、地域団体を使って、一緒に事業を進め、団体を育成しながら行っているが、これは特徴的なことをやっている。他にも、モデルになるものがあると思うので、第2章に項目とリンクするかたちで入れるといいのではないかと。
市民の人が見たときに、こういうものが地域福祉なのかなというイメージを入れて計画を作ったほうがいいのではないかと。

③自治会、担い手などについて

- 自治会には温度差がある。自治会がどんなことを取り組めるのかというところが分かりやすく伝えられるといいかなと思う。見守り、居場所づくりなど、具体的に

メニューを出せるとすごく分かりやすくなると思う。

- 自治会員の共有した意識の中で、優先順位をつけて、防犯関係、防災関係、子どもの見守りに特化して一生懸命活動をされている。その中で、地域福祉が大事だということを理解してもらうことが、重要になってくると思う。
- 自治会役員、PTAや民生委員・児童委員など、担い手がいない。高齢化もあり、やりたい気持ちがあっても、できない人がいる。また、転入者の人たちがどのくらい入ってきて、地域の行っていることを理解してくれるかということも考えなくてはいけない。
- 自治会の記載があるが、取組内容が分からない。自治会の実情に応じて、変わってくる。優良事例のようなものがあったら、第3次計画のように載せると、自治会の人に分かると思うので、入れてみてはどうか。
- そもそも担い手不足は、地域の人との関係性の希薄さから来ているものだと思う。第3次計画だと、人の交流、ふれあいを多く取り上げているが、第4次計画でも、この点をもう一度どこかに載せてもいいのではないかと思う。

④障害福祉について

障害福祉はなかなか理解されていないのではないかと感じた。取り組みの中で、「世代間交流等を深めるふれあいの場づくり、居場所づくり」があるが、福祉と言うと、高齢者と子どもで、障害者のことが薄くなってしまう。地域共生の中、地域移行が目標として掲げられている中で、地域の理解などを厚くすることが課題と感じている。

⑤その他

- 事例が資料編になっているが、なるべく目が飛ぶように工夫すると思う。
- 素案は文字が多い。地域共生社会を目指すために、自分たちのできることを取り組んでいって、地域で支え合うということが伝わりにくい。佐倉市の最終的な到達するイメージがあると、各団体などに響くのではないかと思う。
- 基本目標4の住民参加の促進の充実に関連して、ケース支援をしているお母さんたちと関わる中で、自分の子育て中にこういうことに困った、こういうサービスがあったらよかったというのがある。それを子育てが終わったら、自分が担い手になってやってもいいなと思っている人もいると思う。そういうときに、どこに相談すればそれが実現できるのか、窓口があるのか分かりづらい。一步に繋がらない。相談できる窓口というのがあってもいいのではないかと思う。